

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名 | こどもサポート教室「クラ・ゼミ」寒河江校 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 13日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 51 | (回答者数) | 50 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 13日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 10日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 利用者様のフィードバック、引継ぎ、共有等、プログラムの立案など、職員間での連携 | 主担当の指導員を中心に、利用者様の様子や強み、苦手な箇所などの情報共有を行いながらプログラムを立案している。業務の合間や別途ミーティングの時間を設けたりしながら、チームとなって支援プログラムの立案をしている。 | 他校舎と支援の相談や共有を行う機会がある。他校舎の良さを取り入れ、自身の支援に活かすことで自己研鑽を行っている。 |
| 2 | 利用者様一人ひとりに合わせた支援教材の準備・手作り教材 | 支援教材はたくさんあるが、既存の教材だけでは賄いきれない場合がある。市販の教材を購入する時もあるが、一人ひとりの利用者様に合わせて担当指導員が教材を手作りして用意している。プリントなどの学習教材、微細運動の制作教材など多種多様である。 | 他校舎と支援教材を紹介し合ったり、一緒に作ったりする機会がある。県内だけでなく全国のクラゼミと繋がって研修も行っている。ネットワークを通じて無限大の可能性がある。マンツーマンの個別療育だからこそ、手厚さを最大限に生かしていく。 |
| 3 | 保護者様を支える支援【子育てサポート】【家族支援】 | 支援終了後に必ずフィードバックをしている。支援内容の報告だけでなく、支援の様子の見学提供や、お家や通学されている学校での様子を共有させていただいたり、保護者様が悩んで溜め込まぬよう、気持ちの面でのケアも行っている。 | 実際に支援の様子を見てもらうことで、支援プログラムの意図、お子様の強みや今後の課題などを共有できるため、支援見学の積極的な声かけを行っていく。また、家族支援だけでなく必要に応じてケース会議の提案～開催し、関係各所様々な職員と一緒にお子様と保護者様を手厚くサポートしていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 掲示物の多さ | 出入口付近の掲示物が多く、保護者様が本当に必要な掲示物を見つけにくく分かりにくい。 | 法令等で掲示や設置が義務付けられているものは一か所にまとめて分かりやすく提示する。不要なものは処分したり、宣伝物やチラシ、ポスターなどはラック等でひとまとめにすることで、スッキリ分かりやすくまとめる。 |
| 2 | 入れ替わりの時間帯の混雑 | 利用希望の時間帯が重なり、一時的に利用者様の人数が多くなってしまい、駐車場もスペースが埋まってしまい駐車できない。 | フィードバックの時間を調整したり、人員に余裕がある時は職員が外に出て一時的に交通誘導を行うなどの対策を行う。保護者様にも来校の時間を調整していただけるようにお伝えしたり、ご協力を仰いでいく。 |
| 3 | 地域住民との関わり（校舎イベントへの招待） | クラゼミ寒河江校として、現在はイベントの企画やイベントへの招待等の取り組みを実施していない。 | 希望される方が多い場合は実施を前向きに検討していきたい。寒河江市の自立支援協議会に参加した際、実際にイベント企画や実践をしている事業所さんの話を聞いていく。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」寒河江校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

51

回収数

50

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 34 | 14 | 2 | 0 | ・子どもの学習スペースは、個別でとても良いと思う。自由に遊べるスペースはもっと広げられなお良いと思う。 ・もう少し広い方が良いと思います。 ・体を使った活動もできています。 | 事業所の空間を有効に使うことができるよう、必要に応じて配置の変更などを検討してまいります。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 43 | 3 | 0 | 4 | ・1対1がうちの子には合っているようです。 | ありがとうございます。 マンツーマンはクラゼミの強みでありますので、今後も丁寧な対応を行っていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 40 | 3 | 3 | 4 | ・階段があるので何とも言えない | 現在はスロープや手すりの設置予定はありませんが、今後必要と思われる場合には設置していきたいです。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 42 | 4 | 3 | 1 | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 49 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 48 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 7 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 47 | 0 | 0 | 3 | ・子供のことを考えてくれたり、要望に沿って作成されている。 | 保護者様からのアセスメントやお子様との対話などを通じてより良い計画が作成できるよう努めてまいります。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 48 | 1 | 0 | 1 | | 利用者様を支えるために、様々な角度から支援計画を作成しております。気になる点や変更点、ご質問などがありましたらご連絡なくお申し出ください。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 49 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 43 | 4 | 1 | 2 | ・毎回いろんな活動プログラムが組まれてある。 | 固定化の方が効果が出やすい利用者様には、あえて固定化している場合もあります。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 9 | 13 | 14 | 14 | | 希望される方が多い場合は実施を検討したいと思いますので、お気軽にご相談ください。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 48 | 1 | 0 | 1 | ・契約した時に話があった。 | 契約時必ずご説明しておりますが、ご不明な点等についてはご連絡なくお申し出ください。 |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 49 | 0 | 0 | 1 | ・計画書の更新の時に説明がある。 | 個別支援計画交付時に必ずご説明しておりますが、ご不明な点等についてはご連絡なくお申し出ください。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 24 | 8 | 6 | 12 | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 47 | 1 | 0 | 2 | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 46 | 0 | 2 | 2 | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 48 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 0 | 15 | 16 | 19 | ・話を聞いたことがない。 ・参加したことはありません。 | 希望される方が多い場合は実施を検討したいと思いますので、お気軽にご相談ください。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|----|---|---|--|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 42 | 4 | 2 | 3 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 47 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 26 | 13 | 2 | 9 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 46 | 3 | 0 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 40 | 5 | 0 | 3 | ・マニュアルは分かりませんが、避難訓練を行った報告がありました。 ・訓練が行われているか分からない。 | マニュアルは玄関に掲示させていただいております。オレンジ色のファイルに綴じてありますので、ぜひご覧下さい。訓練を行った報告書も玄関に掲示しておりますので、ぜひご覧ください。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 38 | 6 | 0 | 6 | ・訓練が行われているか分からない。 | 定期的な実働訓練は行っていますが、児童全員が参加できているというわけではありません。まだ参加できていない方は次の機会にお声がけさせていただきます。また、訓練を行った報告書を玄関に掲示しておりますので、ぜひご覧ください。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 45 | 1 | 0 | 4 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 37 | 8 | 0 | 5 | ・利用中に事故が発生したことがない。 | 事故は今のところ発生しておりません。良い事ではありますが、万一に備えて、事故が起きた時の行動マニュアルや役割分担なども、校舎内で策定しております。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 48 | 1 | 0 | 1 | ・先生方のことをとても信頼しています。 ・とても楽しそうです。ありがとうございます。 | 温かい言葉をありがとうございます。今後お子様に楽しく通っていただける事業所を目指してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 41 | 9 | 0 | 0 | ・毎回楽しみに通所しています。嫌がったことがほとんどありません。 | ありがとうございます。今後ご期待に応えられるよう楽しいプログラムを用意してお待ちしております。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 47 | 3 | 0 | 0 | ・楽しみながら成長しています。いつも子供のことを理解し、丁寧に对应いただき感謝です。 ・本人楽しく通所しておりますので、今後ともよろしく願いたします。 ・いつも丁寧な対応をありがとうございます。本人の無理なく通えるペースでの利用、今後ともよろしく願いたします ・学校の環境や、対応等、見に行つて助言して下さるような支援があると良いと思います。 | ・温かい言葉をありがとうございます。今後お子様に楽しく通っていただける事業所を目指してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。 ・「学校の環境や、対応等、見に行つて助言する支援」というのは、【保育所等訪問支援】というサービスが対象ですが、クラゼミ寒河江校ではそのサービスを実施しておりません。保育所等訪問支援の提供が出来るよう前向きに検討していきたいと思ひます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | こどもサポート教室「クラ・ゼミ」寒河江校 | | | | | 公表日 | 2026 年 2 月 14 日 | | |
|---------|----|--|----|-----|---------|--|-----|-----------------|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | | | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | | 玄関前に階段がある。手すりを設置する等は難しいが、今後検討していきたい。段差の箇所にカラーテープなどを貼って注意喚起を行う。 | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | | | | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | | | | | | |
| 適切な | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | | | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---|
| 支援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 必ずとは言えないが、打ち合わせや引継ぎを行っている。 | 毎朝全体ミーティングをしているが、できない日もある。毎日出来るようにしていきたい。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | ・必ずとは言えないが、打ち合わせや引継ぎを行っている。当日にできなかった際は翌日に行っている。 ・支援当日は難しいが、後日職員間で共有できている。 | 毎朝全体ミーティングをしているが、できない日もある。毎日出来るようにしていきたい。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 職員間でフィードバックを行い、気付いた点を共有している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 主に児発管が参画しているが、担当職員が行ける時は一緒に同行している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 必要に応じて担当者会議を定期的に行い、相談や検討、共有を行っている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 必要に応じて行っている。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 児発管や管理者が参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|--------------------------|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | | 希望される方が多い場合は実施を検討していきたい。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 苦情受付窓口や、解決担当など、体制を整えている。今のところ苦情はなし。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 主にホームページのブログとInstagramで発信を行っている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 鍵付きのキャビネットに保管している。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 食事提供は行っていないが、アセスメント時に必要に応じて聞き取りを行っている。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | | |